

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
にこり [児童発達支援]		2026年3月20日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースは基準以上の広さを確保しています。個別活動・集団活動の人数を調整するなどの配慮をしています。	引き続き、こどもの人数や年齢により安全に過ごすためのスペースが十分でない判断した時は個別活動と集団活動を調整するなどの配慮をしていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか。	7		基準人員に加え、こどもの人数に応じて2~5名を配置しています。	これからも安全面に配慮し、十分な人員配置を行っていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		絵カードや文字などで視覚的にもわかりやすいようにしています。出入口のドアの開閉などの補助や見守りを行っています。	わかりやすく、過ごしやすいように環境整備を行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日清掃、換気、教材・机・ドアなどの消毒を行い、清潔を保てるようにしています。	清潔で整った教室を維持し、安心・安全に過ごせるように環境作りに努めます。
業務改善	5 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		日々情報共有を行い、朝礼・終礼にて確認をしています。	職員それぞれの気付きやニーズを共有し業務改善に努めます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につばげているか。	7		つなげられる所は迅速に対応することを心がけ、総合的に判断することが必要な所は社内で意見を出し合い、最適な対応をするようにしています。	保護者の方の意向を把握し、よりよい支援を目指して業務改善に努めていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	7		・評価表の結果を踏まえながら定期的に会議や面談を行い、それぞれの気付きや意見を把握し、業務改善につなげています。 ・ホームページ等にて公開しています。	職員が意見を出しやすい職場環境を作り、全体で共有・検討し業務改善につなげていきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		未実施。今後実施を検討します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	7		定期的に社内研修を開催している。外部研修を受講した場合は内容を共有しています。	積極的に外部研修を受講できる機会を作っていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		定期的なアセスメントの実施と、面談や保護者と日ごろの様子を情報共有して状況を把握し、適切な個別支援計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	7		統一したアセスメントシートを使用しています。面談や行動観察などによりアセスメントを行い、適応行動の状況を図っています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個別支援計画はアセスメント・検討会議をもとに支援に必要な項目を設定し、利用者の課題に応じて具体的な支援内容を設定しています。	モニタリングを通じて課題の整理を行い、検討会議において職員全体の意見をまとめ個別支援計画を作成しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	7		職員間で情報共有し、個別支援計画に沿った活動プログラムを作成しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		ミーティングを行い職員同士で様々な案を出し合い、個別支援計画をもとに計画的に活動プログラムを組み立てています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		個別支援計画に沿って個別レッスンと集団活動の内容を考え、成長や習熟度に合わせ意欲的に取り組むことができるよう工夫しています。	こどもの様子や習熟度に応じて内容を変更するなど柔軟な対応を含め、意欲的に取り組むことができるよう工夫していきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	7		個別支援計画に沿ったプログラムで、こどもの年齢や特性に応じた個別活動と集団活動を行っています。	今後も個別活動と集団活動を生かした支援を行っていきます。
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7		朝礼時に利用人数や支援内容、変更点などの確認を行い、常にフォローし合える体制を作っています。	職員全体での詳細な内容確認を行い、連携体制を整えていきます。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼時に支援の振り返りや引継ぎ、次の日の打ち合わせなどを行っています。	支援の振り返りや気付き、改善点など共有し、職員全体での共通認識を徹底していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		利用日ごとにすべてのこどもの支援内容や面談内容など記録しています。	記録を継続し、支援の検証・改善に努めます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		6ヶ月毎にモニタリングを行い、結果に応じた個別支援計画の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	7		多くの機会はありませんが、参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	7		協力医療機関や民生委員・児童委員と連携しています。	より幅広く地域の関係機関と連携して支援を行う体制を整えていけるように努めます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	-	-	-	-
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	-	-	-	-
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要に応じて情報提供等を行うことができます。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要に応じて情報提供等を行うことができます。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	6		児童発達支援センターやかながわ福祉センターからの助言や研修を受けています。事業所連絡会への参加や事業所間連携を通じてアドバイスをいただいています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		4		日程調整が難しく、交流の機会を設けることができませんでした。今後は地域の中で様々な交流が持てるように計画していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-	-	-
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		支援後のフィードバックやLINEでの情報共有、面談で共通理解できるよう努めています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	4	3	教室内の掲示やLINEで情報提供を行っています。	今後保護者の方のニーズを把握し、教室での家族支援プログラムなどの実施を検討していきます。
保護者への説明	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明させていただいております。また、不明な点があれば随時、管理者などが説明をするようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画作成前に保護者面談を実施し、こどもの状況や家族の意向を確認して作成しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7		支援後のフィードバック以外にも必要に応じて面談の機会を設けており、教室内のこどもの様子から見えない悩みなどもご相談いただいています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		5	日程調整が難しく、今年度は実施できませんでした。	保護者の方のニーズをもとに定期的な開催を検討します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ご質問やご相談を随時承っています。	

切等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	利用日時の確認や欠席連絡・振替連絡などはLINEを活用し、連絡を取りやすい体制にしています。こどもの様子はInstagramやLINEにて動画や写真で共有しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	7		個人情報が含まれる書類等は必ず鍵付き書庫に入れて管理しています。	今後も個人情報の取り扱いには十分に注意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		保護者との相談や希望に応じて、視覚的にわかるようにしたり、こどもに関する内容を本人の前では話さないなどの配慮をしています。	お子さまと保護者の方の要望に沿った配慮をしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	未実施	検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		社内研修を実施し、各マニュアルの読み合わせや訓練を実施しています。	わかりやすく周知徹底するために、教室内に掲示し、誰もが確認できるようにします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的な避難訓練を行い、安全確保・避難経路・災害用伝言ダイヤルなど非常時の対応を説明しています。	今後も業務改善計画の内容を熟知し、定期的な訓練を行い、非常時に備えます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に保護者に確認し、毎年フェイスシートを更新して状況を確認しています。	
	44	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	事前に保護者に確認し、食物アレルギーがある場合は医師の指示書の提出をお願いしています。	引き続き、必要に応じて食物アレルギーの対応をしていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	7		ヒヤリハットが起きた際は記録を全体で共有し、検討会議を開催し再発防止に努めています。	ヒヤリハットの記録を継続し、再発防止・事故防止に努めます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		入社時および年1回以上の虐待防止研修を実施しています。	年間計画に虐待防止研修を設定し、定期的を実施します。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		契約時の重要事項説明時に身体拘束について説明しています。	今後も身体拘束の必要がある場合は、事前に了承を得て、個別支援計画に記載し、報告を行っていきます。	